



毎月25日は飲酒運転撲滅の日

飲酒運転は絶対・・・しない！させない！許さない！そして・・・見逃さない！



平成18年8月25日、福岡市の海の中道大橋で幼い3人の命を奪った飲酒運転が発生しました。

二度とこのような悲惨な事故が起きないように、福岡県では、飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例により、毎月25日を「飲酒運転撲滅の日」、8月25日から31日を「飲酒運転撲滅週間」と定めています。

少量のアルコールでも、心と身体に影響を与え、運転能力や判断力などが低下し、取り返しのつかない事故を引き起こす可能性があります。

自分はもちろん、家族やまわりの人にも呼びかけ、飲酒運転をなくし、事故を予防しましょう！

「飲酒運転」と聞いて、「自分は大丈夫！」「もう十分理解しとる」って、思っていないですか？
それは本当に、正しい知識ですか？

飲んだら乗らない、は当たり前。

飲んだ翌朝の飲酒運転を防いでいますか？

「1単位」のアルコールの処理には、飲み終わってからおよそ4時間かかります。

3単位飲んだら、半日（12時間）は抜けません。翌朝の運転はもちろんダメ。



覚えよう！アルコールの1単位

※1単位 = 純アルコール約20グラムを含む酒類



ビール
アルコール約5%
中瓶1本(500ml)



日本酒
アルコール約15%
1合(180ml)



ワイン
アルコール約12%
小グラス2杯(200ml)



ウイスキー
アルコール約43%
ダブル1杯(60ml)



チューハイ
アルコール約7%
1缶(350ml)



焼酎
アルコール約25%
コップ半分(100ml)

1日に平均して、男性で2単位以上、女性で1単位以上の飲酒は生活習慣病のリスクを高めると注意を呼びかけています。
(厚生労働省「健康日本21」より抜粋)

正しい知識で楽しく飲んで、飲酒運転による交通事故を予防しよう！